



婚姻、ピークの半数以下

厚生労働省が4日公表した人口動態統計によると、2024年の婚姻数は48万5063組となり、2年連続で50万組を割り込んだ。ピークだった1972年の約110万組に比べ半数以下。最大の理由となる若年層の人口減少に加え、出会いの機会の少なさや、経済力への不安が拍車をかけているようだ。

年齢ごとの人口構成を表す国立社会保障・人口問題研究所の人口ピラミッドで、1970年と2025年を比べると20歳の人数は男女とも約100万人から約50万人に半減した。約95万人だった30歳は3分の2の約60万人、約80万人いた40歳は約70万人に減っている。日本総合研究所は「婚姻数の長期にわたる減少傾向は、若者の減少が最大の要因」とみる。

ほかに要因として考えられるのは、結婚したくても、できない若者の存在だ。こども家庭庁が24年、結婚の意向がありながら未婚となっている10〜30代に理由を複数回答で尋ねると「出会いの場がない」が32%で最多。20〜30代に限ると「家族を養える経済力がない」が多かった。

結婚したいのに相手を探さない若者もいる。理由として、男性は「給料や学歴に自信がない」、女性は「仕事や趣味を優先したい」などが上位だった。

2025年6月5日2面

【問1】 2024年の婚姻数は何組ですか

(48万5063)組

【問2】 婚姻数が一番ピークだったのは、何年で、約何万組ですか。

(1972)年 約(110)万組

【問3】 日本総合研究所は婚姻数の減少の最大の要因をどのように分析していますか。

若者の減少

【問4】 家庭庁の調査による「結婚の意向がありながら未婚となっている10代から30代の若者の理由」はどのようなものですか。新聞記事の中から書き出しましょう。

・出会いの場が少ない

・家族を養える経済力がない

【問5】 あなたは将来結婚したいですか。あてはまる()に○をつけ、その理湯も書きましょう。

() 結婚したい

() 結婚したくない

むずかしい漢字とことば

厚生(こう・せい) 人口動態統計(じん・こう・どう・たい・とう・けい) 婚姻(こん・いん) 比(くら)べ 若年層(じゃく・ねん・そう) 減少(げん・しょう) 経済(けい・ざい) 拍車(はく・しゃ)をかける 年齢(ねん・れい) 構成(こう・せい) 歳(さい) 半減(はん・げん) 減(へ)る 傾向(けい・こう) 若者(わか・もの) 存在(そん・ざい) 複数(ふく・すう) 尋(たず)ねる 限(かぎ)る 学歴(がく・れき) 趣味(しゅ・み) 優先(ゆう・せん) 遅(おそ)く

